

須崎地区の磯焼け対策(2)

下田市須崎地区の若手漁業者の集まりである須崎青年部が、海藻類が消失する「磯焼け」対策を行っていることを、伊豆分場だより第368号に記載させていただきました。その際は、アカモク種苗の設置とカジメ母藻投入について紹介しました。その後の経過ですが、アカモク種苗については残念ながら食害等の影響で冬期に消失してしまい、カジメ母藻投入の効果についてはまだ確認されていない状況です。このように、磯焼け対策の取組は、すぐに効果が出るというものではないため、継続的な取組と試行錯誤が重要です。

須崎青年部も継続的に取組を行っており、6月21日には伊豆分場で作成したカジメを定着させた建築ブロックを11個、須崎漁港内に設置しました(写真1～3)。また、そのまま設置したとしても、ブダイ等の藻食性魚類の食害を受けてしまうことが想定されたため、2個のブロックにはネットを被せるなどしてカジメ全体の保護をして設置を行い(写真4)、経過観察をすることとしました。このように継続した取組と試行錯誤により、少しでも藻場が造成されることを望みます。



写真1 カジメブロック



写真2 カジメブロックの搬出



写真3 船上から投入



写真4 ネットを被せたカジメブロック

(高田伸二)